

⑩情報共有・コミュニティの維持について

【会議参加者からの意見】

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
160	要望	新電話帳の発行が望ましい。今後の全ての事業を早急に推進するためにも。	01福島
162	要望	仮の町完全実施。全町民への情報の通知。	01福島
209	付き合い	今までの町の人達との付き合いにお金がかかって困っている。	01福島
213	友人	大切な友人との距離が遠くてさみしい。	01福島
221	つながり	つながりの意味がよくわからなくなった。	01福島
262	復興	近隣のつながりがあるからこそ、復興につながる。	01福島
323	名簿	避難民名簿があるといいと思う。	02東京
337	サークル	友人が出来るようにサークルをつくってほしい。	02東京
366	情報の正しい広報	線量の正しい広報を行って欲しい。	02東京
371	同窓会で	同窓会の時に集まれる場所を。	02東京
382	復興に向けて	除染は無駄。その分、新しいコミュニティにお金をかけた方がいい。	02東京
383	広報	双葉町の広報が貧弱。	02東京
384	コミュニティ作り	復興ならぬ「福幸」という意識で新たなコミュニティ作りに目を向けるべきではないか。	02東京
391	広報について	震災以降、双葉町で生まれた人、死んだ人の名前が広報から外れている。浪江広報には記事にされている。	02東京
421	放射能	放射能は目に見えないから怖い、数値もよくわからない。	02東京
434	情報公開	諸外国と比較して情報公開が遅い。	02東京
435	インフラ	情報を誰でもやり取りできるインフラ作りが急務。	02東京
436	お盆	本当のお盆は同じ福島弁を話す人々と会ったとき強く感じる。	02東京
437	ビデオ会議	ビデオ会議、Google ハングアウト等を活用する。	02東京
438	情報	関東でも情報交換できる様にして欲しい(インターネット環境がなくとも)。	02東京
439	情報誌	インターネットができない人も簡単に情報交換ができるように。	02東京
440	郷土愛	双葉町出身者も同じ町民として意見を述べるべき、町を出た者が郷土愛を知っているはず。	02東京
477	情報交換の場	お互いの情報交換ができる場がほしい。	02東京
478	情報	町の情報ではほしい情報が入ってこない。	02東京
484	情報	情報を提供してほしい。ipad提供希望。	02東京
486	親の集い	被災者の子供のいる母たちの集いがほしい。	02東京
489	ふれあい	町民がふれあえる場所がほしい。	02東京
496	コミュニケーション	コミュニケーションの場を持つ。	02東京
497	運動	みんなで運動のできる機会・場所がほしい。	02東京
498	カラオケ	カラオケ	02東京
506	情報	情報を提供してほしい。	02東京
530	みんなで助け合う	これからの生活は不安だらけです。失ったものがあまりにも多すぎて。でも、みんなで助け合って生きていけばなんとかなると思います。	02東京
553	被曝手帳	被曝手帳をそれぞれつくってほしい。測定値も正しい値を教えてもらえない。	02東京
590	電話代	電話代がものすごく高くなった。双葉の町人と話すのが懐かしくてつい長い長電話になってしまう。話さないとストレスになる。	02東京
619	他地域	他地域にいて双葉町のためにできることはないのか？まもなく引っ越すので地域事務局等担える。	02東京
621	子供	生まれたとき一緒に双葉町民だった子供たちのネットワークが欲しい。	02東京
630	世帯主	情報が世帯主にしか渡らない。世帯主以外でも希望者には情報を提供してほしい。	02東京
654	交流	年代別交流会を開いてほしい。	03柏崎
655	連絡	避難してる人の連絡先がほしい。	03柏崎
659	双葉会	今度柏崎で双葉会を行う。	03柏崎
662	交流会	年一回は、交流会を企画してほしい。	03柏崎
669	コミュニケーション	避難先での住民コミュニケーションがほしい。	03柏崎
673	放射線	双葉町の行政区ごとの汚染地図が必要。	03柏崎
674	放射線	放射線の測定をもっと細かくしてほしい。	03柏崎
684	サポート	柏崎サポートセンターが来年2月までと聞いているので、延長してほしい。手作りの会に参加している。集まる場所になっている。	03柏崎

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
741	要望	双葉町の電話帳に携帯番号も掲載してほしい。	03柏崎
742	フェイスブック	双葉町もフェイスブックを活用してもらいたい。	03柏崎
762	海洋汚染	双葉地区の海洋汚染の状況が知りたい。	03柏崎
766	願い	またみんなと遊びたい。	03柏崎
767	要望	子供のイベントを増やせば自然と人が集まってくると思う。	03柏崎
770	会いたい	みんなに会いたい。	03柏崎
773	福島漁業への不安	福島の海洋汚染について知りたい。チェルノブイリではどうだったのか。	03柏崎
774	海に関するデータ	海に関するデータを増やしてほしい。水中の瓦礫処理をしていく上で問題はないか。	03柏崎
800	娯楽	双葉町にいた仲間とスポーツをしたい。	03柏崎
804	その他	避難先での横の繋がりを作るべき。自治体の枠を越えて。	03柏崎
830	趣味	施設の女の人も男の人も一緒に喋れる施設があるといい。	03柏崎
862	元気なうちに	双葉町に住んでいた時のように、ボランティア活動をしていきたい。	03柏崎
874	組内コミュニティ	組内のコミュニティが無くなってしまい残念。	03柏崎
876	連絡	連絡を取りたいのに、とれない人もいる。	03柏崎
889	友達と	友達と飽きるまでおしゃべりしたい。	03柏崎
897	連絡	町は連絡先を教えてください。	03柏崎
898	双葉町の人	柏崎には双葉町の人が多いので、会いたい。	03柏崎
901	放射線	国の放射線量はどの高さまで測っているのか知りたい。	03柏崎
965	コミュニティ	町民が集まれる条件（お酒、一泊にするなど）が必要。車で集まるとお酒が飲めない。	04加須
974	人の絆	お金も必要だが、人の絆を保つ仕組みも必要。7000人のまちづくりに興味がなくて来ない人もいるが、どっかで繋がってるんだから。	04加須
980	絆	「今どこにいるの？」が双葉町の人たちに会うときに合言葉になっちゃった。	04加須
988	情報	インターネットは年配の人は使えないから、勝手に情報が映る情報端末を各家庭に。	04加須
996	祭りの	各地の村祭りがあった。	04加須
997	町民の集まり	元の行政区の集まりの方が、顔も知っているので良かった。懐かしい。	04加須
998	イベント	イベントがあった。	04加須
1043	電話帳	連絡をとれるようにしてほしい。	04加須
1044	震災フォトフレーム	役場より配られたフォトフレームで現状の町や会合の情報が流れるのが便利。	04加須
1051	施設	大きい建物はいらないが、皆で気楽にしゃべれる所がほしい。	04加須
1063	活力	こうやって話し合うと明日への活力が湧く。	04加須
1084	ハングアウト	ハングアウトによるコミュニケーション。	04加須
1094	コミュニティ	モデル的なコミュニティの再生ができれば、そこには双葉町以外の人、若者と集まって住めるようにする。	04加須
1103	情報交信	情報交信の環境、アイデアが貧しい。	04加須
1117	情報	双葉町民の都道府県別避難者数を知りたい。パソコンを使わなくても最新情報を知りたい。	04加須
1118	情報	復興支援金がどの様に使われているのか、詳しく知りたい。	04加須
1120	世代	こういう場所に同世代、二十代、がいないというのは、みんなそれぞれがコミュニティを確立し始めているからだろう。町の復興よりも自分のことで精一杯。	04加須
1122	力	あらゆるコミュニティを断ちきられた双葉町町民。その私たちが本当の復興を果たしたならば、それは今後の日本の宝になる。	04加須
1129	情報	情報があるということ、その信頼性を高めることによって意思決定の補助になる。	04加須
1158	したいこと	慣れたお友達とお稽古がしたい。	04加須
1168	つながり	若い世代は、避難地での人とのつながりができることによって、今までの繋がりに変化している。	04加須
1228	コミュニケーション	使い方が簡単な端末、個人電話で町民が話できるようにしてほしい。	05いわき
1241	一致団結	町づくりは、役場職員と町民が一致団結しなければ進まない。一部のみにしか情報が伝わってない。	05いわき
1308	見守り合うまち	高齢者も教育に関われる、若い世代から高齢者までが見守り合うまちづくり。	05いわき
1311	情報提供	今生きていく上で、もう決めていかななくてはならないので、具体的な情報提供をしてほしい。	05いわき
1385	住民の電話帳	住民の電話帳をつくってほしい。個人の承認を得ればできるはず。	05いわき

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
1437	避難状況	避難状況が違い、避難場所によって条件が違う。団結しなきゃならないが、まとまらない。	05いわき
1445	他の市町村	他の市町村に住んでも肩身の狭い思いをしなくて良い環境をつくってほしい。	05いわき
1455	お年寄りの娯楽	お年寄りの楽しみ、旅行などのコミュニケーションを増やしてほしい。	05いわき
1497	新しい土地に溶け込む努力	自分たちも積極的に新しい土地に溶け込むこと努力が必要。そのサポートがあると助かる。	06郡山
1548	人との会話	誰かと話すことで、気持ちがスッキリする。	06郡山
1550	情報	情報が役場に伝わらないため、タイミングがずれてしまう事が多く、損してしまう。	06郡山
1557	暮らし	地域の人ごとに集まりたい。	06郡山
1561	疎遠	今までの縁は変わってしまっている。親兄弟すら疎遠になってしまう。組単位の冠婚葬祭もなくなってしまっている。	06郡山
1562	緊急連絡の仲介	緊急の連絡先を仲介して教えてもらえるような機関、仕組みが必要である。	06郡山
1565	医療について	以前のかかりつけ医との連絡手段が分からなかった。	06郡山
1575	情報について	役場が情報を与えることによって絆が生まれる。仮設住宅だと情報が入りやすい。	06郡山
1587	情報不足	役場からの情報がない。	06郡山
1588	連絡先	役場はプライバシー保護で個人情報（親戚でも）連絡先を教えてもらえなかった。	06郡山
1590	放射能	放射能の情報や、放射能についてもっと知りたいし、学びたい。	06郡山
1593	放射能	放射能についての最低限の情報、勉強をすべきだろう。	06郡山
1595	情報	分からないことが多い。プライバシーの侵害になってしまうため、個人情報を教えてもらえない。	06郡山
1600	情報	借上げ住宅は孤独で、情報が入って来ずらい。	06郡山
1631	集まる場	住民の集会場をつくって、月に一回集まって食事会やお茶会などをした。町全体での住民の交流を増やしたい。住民が自由に使えるタブレット端末を町で無料で貸し出してくれると、情報が早く伝わるのでよいと思う。	06郡山
1634	集会場	地域に限定せず、双葉町全体が集まる場が欲しい（無料で）。	06郡山
1636	東電へ2	双葉町皆で集まって食事をするような場が欲しい（食費は東電）。	06郡山
1642	コミュニティ施設	仮町役場と、みんなで集まるコミュニティスペースのある複合的施設がほしい。	06郡山
1643	住民の集い	住民の集会所をつくり、月一回集まって食事をつくる。	06郡山
1693	絆	風土に対する絆。	06郡山
1694	よその町	新しい町に簡単には溶け込めない。	06郡山
1696	交流	ご近所や友達との交流を取り戻したい。	06郡山
1697	新しい企画	コミュニティで集まって新しい企画を始めたい。	06郡山
1698	気持ちの共有	気持ちを共有する人が避難地にいない。	06郡山
1699	ネットワークの構築	家族、友達などのネットワークの構築。	06郡山
1709	コミュニティ	家族や友達との絆を取り戻したいので、町のコミュニティ、集まりの機会を増やしてほしい。	06郡山
1720	希望を	希望がもてる情報がほしい。前に進めないでいる。もう限界。	06郡山
1754	地域によって情報に差がある	避難している人に、福島の情報きちんと伝える仕組みをつくってほしい。	06郡山
1756	イベント再開を求む	双葉のイベントを再開したい。（避難先との共催もあり）	06郡山
1757	情報がほしい	フォトフレームの情報が最新でない。最新の情報がほしい。	06郡山
1769	情報公開してほしい	再建、賠償関連のノウハウを集めて、みんなに情報公開してほしい。	06郡山
1790	放射能	放射能の線量について、子供たちにもっと身近に話してほしい。風化によって人間扱いをしていない。子供を大事に。	06郡山
1797	気がついたら	情報も得られず、気が付けば雪国に避難していた。	06郡山
1804	情報	悪い噂や情報ばかり。更に不安になる。もっと沢山の情報交換をしたい。	06郡山
1813	補償情報	補償関係の情報が不足している。	06郡山
1819	窓口	様々な事への窓口が分からない。明確にしてほしい。	06郡山
1850	横のつながり	もう少し快適に横のつながりを。風通しよく集まるといい。	07つくば
1894	コミュニティの崩壊	近所の人達の居場所がわからない。コミュニティの絆が完全になくなってしまった。	07つくば
1902	娯楽	つくばで一週間に一回地元の人たちと一緒にニコニコ体操が楽しい。	07つくば
1905	娯楽	楽しみとして畑で栽培している。（避難先の町からの貸し出し）	07つくば

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
1931	アンケート	情報公開。次の住まい方、広域アンケートをやるべき。どのような選択をしているのか、町民は知りたい。	07つくば
1935	人とのつながり	人とのつながりがあれば双葉町である必要はない。	07つくば
1940	避難生活の課題	交流会に行きたいけれど行けない人に声かけをしていたが、それがなくなってきたのが残念。今日来れない人の代弁でもある。	07つくば
1941	避難生活の課題	移ってきたばかりの時は共有していたが、今は自分の生活だけに目がいつている。余裕ができつつも精神的に限界。	07つくば
1942	長引く避難生活での課題	ずっとこの町（避難先）にいるのであればよい。人間関係を継続させるのがよいが、今の生活では諦めてしまう現状がある。	07つくば
1943	地域の人たちの現状	議会懇談会で愛媛に避難している人の現状の暮らしぶりを知った。役場事務機能としてやるべき。	07つくば
1945	避難生活での課題	この時間を使って絆づくり。	07つくば
1946	議員交流会の提案	議員交流会をやって、町を超えて情報共有、意見交換してほしい。地域のエゴを超えて。	07つくば
1955	双葉町の存続	町を存続するために、会議に参加して人とのつながりを持つことは、やはり必要だと強く感じる。	07つくば
2011	情報共有	情報がないのが不安。会議などにはなるべく参加するようにしている。	07つくば
2058	交流施設	仮設か自治体（コミュニティ）ごとに、交流スペースや宿泊場所をつくってほしい。	07つくば
2059	情報交換	電子掲示板は一方。双方向の情報交換ができるツールがあれば便利。	07つくば
2070	交流のための支援	交流したいが距離がある。何とかしてほしい。	07つくば
2076	情報交換	町民同士が情報交換できる場所がほしい。	07つくば
2077	自立した人の交流手段	国県の動きが悪いので、新しい土地で新しい生活が始まる人もいる。町外に出た人も交流できる場所が必要。	07つくば
2083	広報	町民号を再開してほしい。	07つくば
2084	イベント	町民みんなが一カ所に集まるイベントを行ってほしい。	07つくば
2087	子供の活動	小中学生が、バラバラでも取り組める活動をしてほしい。（福島駅伝など）	07つくば
2115	避難生活	コミュニティということできつつも分かっていくのも分かるが、まいってしまう。	07つくば
2132	人口減による対応	婦人学級を改め、生活学級とする。（人口減のため）	07つくば
2193	集まれる場所	東京近辺に双葉町の人が集まれる場所をつくってほしい。	08全体
2200	やっぱり双葉町民は一つ！	あまりに町民が分断しすぎると、町のコミュニティの維持が図れるか不安。	08全体
2205	今後の暮らしの不安	仮設住宅の中に交流の場をつくったが、仮設は5年しかいられない。	08全体
2206	話し合いの場	失ったものはみんな一緒だから、一人で落ち込まないで、皆で集まって話し合いを始めることが重要。	08全体
2209	つくばのコミュニティ	つくばにコミュニティをつくったのは正解だった。	08全体
2221	近くに知人のいる暮らしを望む	近くに知人がいるので今はいいが、いなくなってしまった時が不安。	08全体
2248	コミュニケーション	集まらなないと、ケンカも含めてコミュニケーションが生まれにくい。	08全体
2266	あいさつのできる環境	ご近所でお互い「おはよう」「おかえり」といえる環境に住みたい。	08全体
2270	コミュニティに入る	自ら避難先のコミュニティに入っていく必要がある。シニア世代の、麻雀という趣味など、きっかけはなんでもいいと思う。	08全体
2274	前向きな気持ち	終わったことは気にしない。前向きに笑ってみんなで話したりすることが大切。	08全体
2277	避難先のコミュニティ	避難先でコミュニティ（自治体）がいくつかに分かれているが、これは現状の調和として必ずしも悪くない。	08全体
2278	避難先での交流	避難生活での不安をできる限り和らげるために、仲の良い人たちで集まるのも意味がある。	08全体
2279	町民によるコミュニティの立ち上げ	新しいサークルやクラブの立ち上げに当たって、地元の得意な方を探して見るのも良い。	08全体
2280	つくばのコミュニティに参加したい	地元の手芸クラブなどがあれば入りたい。	08全体
2281	他町民の受け入れと関係づくり	自治会をつくるのはいいことだが、双葉町以外の人も入れる雰囲気作りが大事。	08全体
2282	地元の方とのコミュニティづくり	避難先では、双葉町の人だけでなく、地元の方も輪に入れたコミュニティをつくりたい。	08全体
2283	地域の会とのつながりを作る	てしらの餅つき大会（おやじの会）があるので、出かけて行き地域の会と繋がりたい。	08全体
2286	つくばに貢献したい	つくばに来て1年半だが、お世話になるばかりなので何か貢献したい。	08全体

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2287	つくば老人会に参加	つくばに避難者で入って、事情が分からなかったが、老人会であたたかく受け入れてもらっている。	08全体
2288	地域への溶け込み方	地域の輪に溶け込みたいが、初めて来た土地なのでとっかかりがわからない。	08全体
2289	地元の人の声	地元の人たちの中にも、双葉町の人に地元のイベントへぜひ参加してほしいとの声がある。	08全体
2290	避難先での活動	双葉町では梅を漬けていた。避難先でもやってみてはどうか。	08全体
2291	町民が先生になる	町民の中で特技がある人が先生になって、話しながら手作業できる場をつくる。	08全体
2292	情報共有	情報に飢えている。だからおしゃべりがしたい。	08全体
2294	地域住民とのつながり	憩いの場がほしい。（地域住民とのつながり）	08全体
2295	趣味を活かす	趣味を活かせるサークルをつくりたい。	08全体
2296	つくば連絡所の活用	双葉町つくば連絡所を活用して「手芸」「手仕事」など皆でしたい。講師など呼ぶこともしてみたい。	08全体
2303	賠償問題の情報公開	弁護団が直面している賠償に関する問題点を、町は情報公開して欲しい。	08全体
2305	委員会資料の情報公開	復興まちづくり委員会の資料を、町民に行き渡る形で公開して欲しい。	08全体
2308	地域との融合	つくばで働き、住み続けていくためには、地域との融合は必要である。	08全体
2312	連絡	避難先への住人への連絡が簡単にはつかない。	08全体
2315	電話帳	電話帳を作りたい。富岡町は社会福祉協会が主体。	08全体
2316	繋がり	知人、友人の消息がつかめない。	08全体
2341	連絡先	葬式だけでも連絡先がわかって共有したい。	08全体
2364	今後の復興会議への希望	今日のような会をまた新年会としてやって欲しい。	東京G
2371	双葉町以外の場所に住む事について	双葉町の土地でなくても、顔の見える人が周りにいれば住める。	東京G
2379	ウェブへの提案／町の動きについての情報共有	町長の動き、役場の動きをニュースとして動画交えてみせるような情報集約型のサイトにすべき。	東京G
2400	情報提供への疑問	町が现阶段では言えないことや分からないことはあるかもしれないが、それはそれなりの情報提供の仕方があるだろう。議会でどのようなことが話し合われたのか、今回不信任案が出たにも関わらず、全くみえてこない。	東京G
2404	情報共有について	双葉町に住民票がない人も現状を知り、何か双葉町に関わりたいと思っている人はもっとたくさんいる。声をかければもっと人が集まると思うが、そこには情報が来ていない。	東京G
2411	情報提供	役場より最低限の情報を出さないといけないだろう、放射線量分布図を町民へ郵送すべきでないかと思っている。	東京G
2473	毎日掲載しているこの値って何？	この仮設でも、線量について毎日数値を紙に記入し、掲示しているが、その値が意味すること、そもそも何なのか、実は何もわからない。「勉強会」をしないとみなさんに伝えられないし、全く正しく知られていない。インターネットを見る人が多いわけではないので余計に情報がない。	さくらG
2516	帰還について	正しく知って正しく怖がる必要がある。住民の教育も大切。自ら判断できること。	さくらG
2547	仮の町を決める上での希望	コミュニティの再生は復興住宅が遅れば遅れるほど困難になる。	日和田G
2624	現在の生活について	会津ではまだ自治会がない。自治会をつくりたい。	会津若松G
2632	双葉町への要望	補償や仮の町などの情報が断片的にしか入らないから、ついていくのがやっと、全体的な方針がまるでわからない。	会津若松G
2633	双葉町への帰還について	仮に「5年後にもどる」としても、今の中学、高校生は就職してしまう。こうなればもう双葉町には戻ろうと思わないことは明白なのに、「絆」といわれても意見を出しにくい。	会津若松G
2638	現在の生活について	町民電話帳を作成してほしい。	会津若松G
2639	双葉町への要望	福島県外にいと「おくやみ」情報がわからない。	会津若松G
2640	双葉町への意見	町長さんと議員さんが仲が悪くて情報が町民に入らない。	会津若松G
2669	情報提供	とにかく、情報が来るのが遅すぎる。選挙の時は、投票が終わってから資料が送られてきた。	北幹線G
2681	町長への意見	中間貯蔵施設は生涯認めない。精神的苦痛の賠償金35万円を取り下げない。この2つが問題になってさっぱり進まないし、我々には情報がほとんど入ってこない。	北幹線G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2756	双葉町の文化遺産と生活再建について	だるま市や祭りなどを開催して、双葉町の人が集まる機会を設けるべき。そして、どうしたら一人でも多くの人に来るかを考えるのが双葉町や上の者のやるべきことだ。できない話ばかりでなく、復興を考えるべき。	南台G
2758	現在の生活について	借上げ住宅に住んでいると町の情報があまり入ってこない。双葉町から届く広報くらいしかこない。大熊町や浪江町は1か月に1回、いわき市のリスポで集会があるが、双葉町は交流の機会も少ない。	南台G
2776	双葉町町民のコミュニティを繋ぎとめる方法について	この周辺には、廃校になった施設とかはないのか？双葉町の町民が交流を図れる場所になるようなところはないのか？	さくらG
2777	双葉町町民のコミュニティを繋ぎとめる方法について	各自治体の施設を無料で借りれるようになったので、その1室を双葉町というか双葉郡の人のために開放してくれればよいと思う。	さくらG
2778	双葉町町民のコミュニティを繋ぎとめる方法について	県北方部（福島市）にも双葉町の町民が集まるような集会所がほしい。	さくらG
2779	双葉町町民のコミュニティを繋ぎとめる方法について	絆カフェ富岡など、ほかの町が上手くいった方法をどんどん取り入れて、どんどん真似して進めてほしい。	さくらG
2792	コミュニケーションの場	借上げ住宅の場合、あまりにも点在しているので、コミュニケーションがとれない。集まるところもないので、連絡所でもなんでも良いから無料で、双葉町だけではなく双葉郡としてでも使える「場所」を用意してほしい。	さくらG
2795	双葉町町民のコミュニティを繋ぎとめる方法について	借上げ住宅の人も、双葉町の生涯学習センター（公民館）などができれば、気軽に集まってくると思う。	さくらG
2879	7000人の復興会議について	皆で話せる機会がもっとほしい。今度だるま市もやるので皆がきたら茶話会のようなこともできればいいと思う。	南台G
2885	避難先での交流の状況	情報を取るため、毎日図書館に新聞を見に行っているうちに、図書館の方から「地元の人たちと共に点訳のボランティアサークルを立ち上げませんか？」と声をかけられやることになった。現在講習を受けて進めているところだ。	南相馬G
2886	町民間のコミュニケーションについて	1年に1回くらいは、双葉町町民で集まって顔を見たい。祭りやだるま市などのイベントは重要だが、遠隔地からだと宿泊先がないなどの問題がある。特に、遠方から高齢の親を連れ行くと、日帰りは体力的に厳しい。そういうときに、宿泊場所がないと、自費でホテルをとらなければならないので大変。例えば、仮設住宅で空きがあるのなら、そこを開放できるように、有効活用できるとよい。途中経由できると、ついでにその近くの町民にも話ができるので良いと思う。	南相馬G
2889	現在の避難生活で不便なことについて	宮城県〇〇町では、ほとんど集まりがない。この会は全国放送のニュースで分かった。日頃から図書館では新聞をとってくれているので、情報源はその新聞のみだ。	南相馬G
2890	避難先での交流の状況	近所の同じ年代の方がお茶飲みに来るようになったり、親父は老人会に入って先日忘年会にも行ったり、ようやく避難先の皆さんに溶け込めた。	南相馬G
2892	双葉町の人とのコミュニティの維持について	現在宮城県に住んでいるが、（宮城県には自治会がないので）郡山市の借上げ住宅自治会に登録してある。明日は福島県農業総合センターでクリスマス会があるので郡山までいく予定だ。	南相馬G
2893	双葉町の人とのコミュニティの維持について	交流サロンのようなものがあるがあっても、遠隔地の開催だと参加にも限界がある。両親が高齢なのでなかなか家を空けられない。	南相馬G
2900	町民間のコミュニケーションについて	富岡町は町民電話帳をつくったが、双葉町も町民電話帳をつくるべきだと思う。ネットワークをつくらないと本当にバラバラになってしまう。	南相馬G
2901	町民間のコミュニケーションについて	避難先（特に福島県外）での情報が乏しい。今仙台に避難しているが、双葉町民が他に避難しているかどうかがわからない。今は県中の借上げ住宅自治会に登録している。（県北の借上げ住宅自治会があるのも知っている）	南相馬G
2902	町民間のコミュニケーションについて	富岡町がつくった町民電話帳を、双葉町でも作ってほしい。個人情報なので、教えたくない人の分は載せなくてもいいと思う。双葉町の人との連絡を取り合う手段が必要だ。	南相馬G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2903	町民間のコミュニケーションについて	「おくやみ」についても、福島の新聞でしか情報がないが、福島県外にいる双葉町町民については情報の取りようがない。	南相馬G
2915	町民間のコミュニケーションについて	要所要所で安価で宿泊できる施設を設けてほしい。そうすれば全国に散らばった町民にももう少し気軽に会いに行ける。	南相馬G
2937	双葉町からの情報提供についての希望	今度、仮設住宅から出る際の判断のため、引っ越し先の不動産情報などがもっとほしい。	郭内G
2938	双葉町からの情報提供についての希望	広報ふたばなどで情報は得ているが、白河にも職員一人常駐してもらえないか？現在は週に1回程度なので、情報を得るためにも「連絡所」をつくってほしい。	郭内G
2939	双葉町町民相互のコミュニケーションについて	任意掲載でもいいので「住民電話帳」をつくってほしい。	郭内G
2940	双葉町町民相互のコミュニケーションについて	仮設住宅と借上げ住宅も関係なく、月1回程度の交流会を開催したい。	郭内G
2941	双葉町町民相互のコミュニケーションについて	双葉町の皆さんとの交流の機会がないために「先のことをどうするか？」についても決められないし、双葉町の近況などの情報も入ってこないの、皆で集まれる場所や機会がほしい。	郭内G
2942	双葉町町民相互のコミュニケーションについて	双葉町の皆さんが今どこにいるのかわからない。双葉町の職員が福島県のどこにいるか（支所以外）もわからないので、もっと情報が入るようにしてほしい。	郭内G
2943	双葉町町民相互のコミュニケーションについて	他の双葉町の皆さんがどこでどのような仕事についているのかなど、他の地域の双葉町町民の現状がほとんど把握できないので、これを把握できる情報提供がほしい。	郭内G
2953	7000人の復興会議について	我々双葉町民にまちづくりの意見を求める前に、まちづくり委員会で分かっている情報などを町民に落としてからでないか意見するのが難しい。町民は現在、双葉町がどのような方針であるかわからないので我々に情報提供をしてほしい。	郭内G
2972	まちづくりマイノートについて	最初は意味がよくわからなかった。もっと地元で情報を流してほしい。	郭内G
2990	双葉町の復興への取り組みについての意見	双葉町町民のなかには、主体性を持って自治会活動などを行っている人もいるので、そのような人を活用（雇用）して双葉町町民のサポートをしていくことも考えてはどうか？	県中借上げ自治会H
2991	町民間のコミュニティについて	双葉町町民間のネットワークをつくるため、双葉町住民の電話帳がほしい。個人情報だから教えたくないという町民の分は掲載しなくてもよいので、電話帳をぜひつくってほしい。	県中借上げ自治会H
2992	県中地区借上げ住宅自治会について	最初は皆手弁当で始まったが、現在は会場は無料にさせていただいたり、さまざまな支援を頂いているが、いつまでも続くわけではないので、今後どうしたらいいか。補償も決まらないので、私自身も先が決まらない。	県中借上げ自治会H
2993	県中地区借上げ住宅自治会について	現在約130名の登録があり、県外の人の登録もあるので、この先しばらくは続けなくてはならないだろう。NPOなどの設立も考えてはみたが、私を含め事務局役員が、この先郡山以外のところへ移動するかもしれないので、NPO化を決めるのを躊躇している。	県中借上げ自治会H
2994	県中地区借上げ住宅自治会について	自治会に参加する方々から、1カ月に1回の定例会だけでなく、気軽に集まれる場所（交流スペース）がほしいと言われている。自治会の事務所は駐車場が少ないのが問題なのと、拠点が狭く支援物資を置くとスペースがなくなるので、交流スペースにするのに難航している。	県中借上げ自治会H
2995	町民支援者のネットワークについて	借上げ住宅自治会は、県中地区だけでなく県北地区にもある。今後要所要所に立ち上がるのではないかと？そうならば、各地区の役員が集まって、連携し復興を進めていくべきではなからうか？	県中借上げ自治会H
2996	双葉町への要望	県中地区借上げ住宅自治会の活動への協力をもう少ししてほしい。支援物資の保管や交流スペースなど、ニーズがあるが自分たちだけで解決していくのは骨がおれる。	県中借上げ自治会H
3007	これからの双葉町復興に必要なこと	「広報ふたば」は1回/月、タブレットの情報も更新頻度が少なく、内容も遅れていて実用的ではないので、双葉町に関する情報が入手しにくい。コミュニティの再生には「情報」が町民を繋ぎとめると思うので、改善してほしい。	白河婦人会H
3033	小単位でも集まって住む	土地に関して、何軒かでも近くに住めれば、お互いに助け合うことも出来るし、子供の代になっても繋がっていられる。全員一緒になくても、知り合い何軒かで集まれれば、全く知らない土地でも多少でも心強いと思う。	埼玉G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3069	避難先での生活	今は近くに誰も知り合いはいないが、近所の奥さんが気さくな方で、何か持ってきてくれたり、電話番号も教えてくれて、何かあったら声をかけてと親切にしてくれた。その言葉でほっとした。	埼玉G
3072	避難先での交流	所沢市の民生委員の方から、健康体操や何かの活動に参加してみませんかと言われたが、この年になって一人ではなかなか飛び込めないで、誰か双葉町の人と一緒に良いなと思っている。	埼玉G
3074	町民同士の繋がり	なので、まずは双葉町の誰が近辺にいるか知りたい。 騎西高校で行事があるとき、声かけてもらえれば嬉しい。いつも終わった後の便りを見ながら、参加したかったなと思っている。	埼玉G
3075	町民同士の繋がり	隔月でも3ヶ月に1回でもいいので、双葉町の人と会って話したい。	埼玉G
3076	交流の場	母親が避難して一緒に暮らしているが、近くに同じ双葉町の人がいるのかどうか全くわからない。交流できる集まりに参加させたくても、土地勘のない場所で、遠出がひとりではできないため、自分が仕事がないときに車で送り迎えしている。そうすると、なかなか都合が合わず、集まりに参加させてあげることができない。今日は久しぶりに双葉の人達と会えて良かったと思う。	埼玉G
3077	情報提供	役場から、いろんなイベントの集まりのお知らせがくるけれど、みんな終わってから。「〇〇やりました」って。そういうのを見て「行きたかったな」と思ったりして残念。	埼玉G
3093	現在の生活について	加須で私が住んでいるアパートの住人も優しく、孫が友達連れて毎日来るのが楽しい。	埼玉G
3122	現在の生活について	上尾の娘のところに住んでいる。だから町の状況がさっぱりわからない。1ヶ月月に一度広報が届くぐらい。	埼玉G
3148	現在の生活について_情報提供	避難所や仮設ではなく、娘の家に避難しているから、支援は何にもない。	埼玉G
3149	現在の生活について_双葉町町民とのつながり	大宮に双葉町の人がいるのか、全く分からない。近所にも誰もいない。	埼玉G
3159	情報提供について	加須に役場と一緒にいった人は、いろいろ支援があったと思うが、とにかくこちらは何もなかった。イベントも通知来ないので行ったことがない。後で「やりました」という広報が来るだけ。郡山地方ではこういうことやりましたって写真も載っていた。やりました！やりました！って、通知は全然来ない。後から見てあれ行きたかったなあとと思う。今までそんな感じだった。	埼玉G
3171	情報提供について	大宮のことは全然わからない。双葉町の人はいないと思っている。	埼玉G
3172	情報提供について	これだけばらばらになったら、情報を届けるのも大変だろう。	埼玉G
3191	現在の生活について_避難地のコミュニティ	那須町に避難しているが、やはり友達とは自分で作れないと作れない。たとえば図書館に行ったときに話してみるとか、自分なりに友達は作った。そこが居住圏になってしまうのが怖いという思いもあるが、いつまでも下を向いていてもしょうがない。	埼玉G
3192	現在の生活について_避難地のコミュニティ	地域のコミュニティと接していかなければならない。借り上げ住宅に住んでいる人は特にそうだと思う。	埼玉G
3193	現在の生活について_避難地のコミュニティ	若い世代は、地域のコミュニティについて何か感じているか知りたい。	埼玉G
3194	現在の生活について_避難地のコミュニティ	若い世代は、地域のコミュニティが特になくても困ることはない。人がいないのになぜ必要とするのか。必要であれば自分で作ればいい。地元の友達もバラバラになっているが、だからといって会えないわけではない。	埼玉G
3195	現在の生活について_避難地のコミュニティ	就職に難しい年代以降が敏感に考えている。若い方は選択肢がある。町が雇用を作ってからという声もある。	埼玉G
3221	まちづくり	若い世代のコミュニティをどうつくるかが大事。若者が主体となって魅力的なまちづくりを考えることから、持続可能で高齢者の支えにもなるまちへつながる。	埼玉G
3222	コミュニケーションツール	テレビ電話のような、離れている家族と顔を見て話ができるツールがあることを知ってもらい、高齢者の方々にも活用してほしい。	埼玉G
3223	コミュニケーションツール	皆ばらばらになっても、双葉町から出てきたことを横のつながりとして将来の子供たちに伝えていくため、テレビ電話はとても大事なツールになる。	埼玉G
3232	避難生活の気分転換(2)	地域の老人会、「長生会（ちょうせいかい）」に入れてもらっている。グランドゴルフをやったり、カラオケなど、気晴らしになっている。	埼玉G
3234	避難生活について_双葉町コミュニティ	双葉町の人近くにいるといい。以前は双葉町の老人会に入っていた。	埼玉G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3238	避難生活について_双葉町コミュニティ	最初、騎西高校に避難した幼なじみ家族とは、今でも加須に足を運んで交流している。しかし、高齢の母は、所沢から加須まで電車で移動することは難しく、行く事はできない。	埼玉G
3239	避難生活について_双葉町コミュニティ	所沢にはたくさんの世帯の方が避難しているという情報は聞いたが、誰がどこにいるかは教えてもらえない。集まる機会があればいいと、個人的には連絡先を交換しているが、色々な方と会うチャンスがもっとほしい。気軽にお茶を飲んでお話しする場所が、所沢にもあればいいなと思っている。	埼玉G
3242	避難生活について_双葉町コミュニティ	住所が前のままで出せば転送されて届くと思い、鴻草の地域の人たちを電話帳で全部リストアップした。つながりをもっていたと思う。そういう活動をしている方はいないのだろうか？	埼玉G
3243	避難生活について_双葉町コミュニティ	年月が経つと、年配の方が戻れるのかどうか、その次の世代、次の世代、孫やその下の曾孫の世代が戻らなくなってしまったら、鴻草の地区が成り立たなくなるのでは、ということがとても心配。もし戻れるようになった時に、人口がかなり減ってしまうのではないか。	埼玉G
3257	親切的な地元住民	加須の人は心が温かくて優しい。果物などを持ってきてくれる。	埼玉G
3291	双葉町の人たちが集まる場	双葉町の人たちが一緒に大勢いると、本当に嬉しくなる。	埼玉G
3292	避難生活の良い所悪い所	騎西高校ではプライバシーはなかったが、仲良くなれた。	埼玉G
3293	若者との交流	あいさつを通して、若い人たちと少しずつ仲良くなっていった。	埼玉G
3298	騎西高校の安心感	「双葉町民が集まっている」というだけで騎西高校には安心感があった。	埼玉G
3299	騎西高校での出会い	騎西高校に避難してきて、色々な人たち(若者)と知り合いになれた。	埼玉G
3309	前向きな考えを持つ	震災からもらった休暇だと思い、人と人との出会いを大切にしたい！	埼玉G
3338	文化継承と暮らし方	町のイベントや行事を継承していくためにも、ある程度集まって住むことは重要。また、双葉町以外の周辺住民、地域住民との交流も必要。	埼玉G
3339	避難先住民との交流	加須市の人たちと、イベントなどを通してもっと交流していきたい。	埼玉G
3349	趣味や娯楽による交流	老人会や合唱コンクールなどを通して、避難所の外の人(加須の住民、福島に住む双葉町民など)との交流を広げたい。	埼玉G
3351	皆で集まって話す	皆で集まっておしゃべりする機会が増えたので、騎西高校内にカフェ(珠寿)ができて良かった。	埼玉G
3359	広報による情報共有	以前も今も、町発行の広報は重要な情報源である。広報でイベント行事の開催や町民の避難先を知らせてほしい。	埼玉G
3411	コミュニティ形成について	(みんなでまとめた意見) 空き家の公務員住宅のリノベーションが実現すれば、双葉町ばかりでなく、浪江町など「双葉郡」の他の町の人も含めたコミュニティができると思う。	つくばG
3455	他地域の避難者への配慮	双葉町以外の避難者のことも考えるべきだと思う。 現状、双葉郡の町村の人達が混ざっているの、日常的に会話をするのもあるので、同じ思いを持つ人同士、コミュニティを作っていればよいのではないかと思う。	つくばG

【マイノートからの意見】

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイノート
34	賠償について	賠償についてよくわからない。紛争センターだとか、訴えたとか、新聞、テレビで聞くがその結果がその後どうなったか公開されていないように思う。もっと公にしてほしい。町はもっと町民のためを思って、機能してほしい。	ノート
36	現在開催している催し事について	双葉町の婦人学級、その他の催し事があっても、そこまで行く交通手段がない。残念に思う。現在住む町の催しには、参加しにくい。	ノート
44	双葉町の今の状況を知りたい	双葉町の今の状態が知りたい。行けない人のために写真・映像で定期的に知らせてほしい。一時帰宅した人達による情報も聞いてみたい。	ノート
54	無料で相談できる窓口	何でも無料で相談できる窓口をずっと続けてほしい。何年も。	ノート
57	町民同士の連絡先	知人がどこへ行ったか個人情報のため教えて貰えなかった。相手方から連絡を貰うようにする方法は気の毒、いい方法を考えてほしい。だからといってまた人を雇ってまで電話帳を作る程でもない。	ノート
60	不動産情報の提供希望	不動産情報（特に浜通り）を提供してほしい。	ノート
107	情報について	町の情報（区域編、仮の町、復興住宅）などが、いまだのような事を国、県に要望しているか、わからなく先が見えない。	ノート
114	情報	町の情報などが少なく今どうなって 国、県に要望しているのか分からない	ノート
118	土地勘	今住んでいる所は土地勘がなく、出歩くこともできなかった？今は農家の人と友になり、手伝いに行くようになり楽しい。	ノート
181	各種イベント	各種イベント（説明会やら老人会等）は、福島地区と各県単位だと遠いので、出席し易い「市単位」で開催してもらいたい。	ノート
225	広報「ふたば」をみて	町からの「ふたば」を見て。双葉町高齢者大学の皆さんのなつかしい顔を見て安心しました。久々に見る顔々、元気な姿で良かった。会いたいです。町の皆さんと。早く仮の町ができ、皆さんと会いたいです。涙がでてきてペンをはしらせることが出来ませんゴメンナサイ。	ノート
238	放射線について	世の中の情報がさくそうしており、どの程度であれば問題ないのかわからない。子供たちが安心して暮らせるかわからないなか、帰宅はできない。きちんと決定、説明して欲しい。また、内部被ばく検査もおそすぎる。すでに、ヨウ素はなくなっているのでは？	ノート
283	コミュニティについて	①これだけ分散し年数もこれからどれだけかかるのか分からないのに答えられないが、 年配の人達はかわいそうだと思うので、双葉町デイサービスのようなものがあれば喜ばれるのでは？ ②パソコンを一家に一台設置して、テレビ会議をする。スカイプ等で健康の確認もとれそう。使う機能だけを教えて皆の参加を広げる。 ③一方的な情報ではなく双方向で！	ノート
411	避難生活_神戸でのサポート	神戸での生活は便利で若い人にとっては快適なのかもしれませんが、年を重ねると生活様式も違うし、言葉の習慣も多少のズレがあってストレスもたまります。かと言って東電の賠償にだけ頼っていることにも違和感があります。神戸は震災を受けた事もあって多様なことで援助をいただいております。支援団体の誘いで様々な集会にも出席させていただきましたし、定期的に開かれるサポートに心から癒されました。生活に少しずつ慣れていくことによって京都、大阪など開かれる集会にも参加したりしてふるさとの情報を少しでも得ようと出かけていきました。思わぬ場所で知った人の情報やうわさ、近況など見聞きすることによって少しでも気をまぎらわしています。	ノート
479	情報を明確に流してほしい	できれば、仮設住宅だけではなく、借り上げや、その他の住宅に住んでいる町民にも情報が流れるようにしてほしい。	ノート
491	双葉町の住人	双葉町の人達と1度も避難してから会う機会がありません。今住んでいる所は福島から避難している人達とも交流はあまりしたことがありません。双葉町で暮らしていた生活がなつかしくなりました。（子供達共話しています）。	ノート
507	地域住民の絆やコミュニティ	私は、川俣町に避難し、その後、〇〇市のアパートに移転した。妻が避難する時、自家用車に積んできた、毛布や服などの他、物資の毛布しか荷物はなかったが、アパートを世話してくれた方が、NPO関係の方で、あらゆる生活用品などを支援してくれた。アパート代金も返金してもらった。本当にありがたく、うれしかった。3月〇日に義父が亡くなって、私は、猪苗代のリステルに避難した。リステルには、同じ地区の方がいっぱいいて、義父が死んだ事も、知っていた。しかし大半の方は、もう関係ないからという人達だった。私はこの状況をみて、なんて非常識の人達が集まった地区だったのか、人間はいざという時に本性がわかるものだ。地区の絆はどうなっているか、これから先、双葉町民の絆は、コミュニティは、どうなるのか疑問に思っている。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
517	情報の共有（借上げにも）	他県で借上げアパート住まいをしている関係で、福島/双葉町の復興情報等が、県内や埼玉（加須市）の仮設にお住いの方に比べると少ないようでは…。と不安に思う。是非、町民平等な対応をお願いしたいと思います。	ノート
538	情報交換を皆ができる といい	インターネットができない人も簡単に情報交換ができれば良いと思う。（パソコンがない人やできない人もいるから）。	ノート
594	ふれあいの場所	町民がふれあえる場所がほしい。	ノート
737	提案_町民電話帳	・町内にいた友人と会えなくなった事は寂しい。 ・先日、父の所へ富岡町から町民電話帳が届いた。近所の人達の情報が知りたくて、父は現住所の記載を承諾したが、これをきっかけに近所に住んでいた人から手紙が届いた。双葉町でも電話帳を作ってほしいと思う。町民達の交流を広げる為にも役立つと思う。	ノート
786	要望	会津方部にも町民の茶話会等年1回位はあってもいいのではないかと思います。	ノート
872	地域によって情報に差 がある。	避難している人に、福島の情報を中心に伝える仕組みをつくってほしい。	ノート
931	双葉町住民の居所が知 りたい	双葉町住民の居所など、避難民として分かったらいいなあ、作ってもらったらいいと思いますが、いつまでも個人情報だからなどばかり言っていないで、実行してください。	ノート
1052	困っていること2	喋り場が近くにない ほしい。	ノート
1101	情報共有コミュニテー について	町民の交流がほしい。	ノート
1105	町民旅行の復活	離ればなれになった町民の絆をつなげる為に町民の旅行を復活する。1回500人位をめどに（大字単位）旅行を行う。現在の一時帰宅同様、町民の希望者が続く限り毎年行ない二次派遣も考えていく。	ノート
1120	孤立	今は会津に住んでいるが、会津に双葉の人がいるかどうかもわからないし、他の所のように集まりを持てると良い。仮設の人達は声をかけあっている様だが、アパートの人達はまったくわからない。	ノート
1147	広報誌について	双葉町の広報にもっと情報など入れてほしい。少し読みづらいです。読み易い工夫を！浪江町の方が読み易いし、情報ももらえる。	ノート
1194	広報について	線量の正しい広報を行って下さい。	ノート
1249	連絡先が分からない。	隣や近所などの連絡先が分からない。どこに避難しているのかも分からない人もいます。また、友達ともあまり会えなくなった。さびしい感じがする。	ノート
1259	放射線の単位につい て。	放射線の単位や環境への影響などまとめた資料などほしい。くわしく知りたいと思う。	ノート
1264	これからの健康のこ と。	放射線に関することや、甲状腺などの病気に関するものがくわしく知りたい。	ノート
1265	これからも忘れないで ほしい。震災のこと。	これからも、震災のことや放射線のことなど風化しないように。教えてほしいと思う。	ノート
1266	放射線に関する病気な ど。	放射線に関して、影響してなる病気など知りたい。注意することなどもくわしく知りたいと思う。	ノート
1299	交流	交流ができる様に、交流スペースや、宿泊できる場所をつくったほうがよい。	ノート
1300	要望	双葉町の電話帳をつくってほしい。子供達が、双葉町を忘れないようにしてほしい。高速代は無料を続けてほしい。	ノート
1405	7000人復興会議 （郡山市会議①） ■郡山市会議に出席し て（日大工学部）（出 席の悪さは何でしょ うかね）	会場をセッティングしてくれましたラボの皆さまには頭が下がります。「ありがとうさん、ご苦労さん」と、感謝と労いのことばを送ります。それにくらべて出席の悪いこと、気が抜けてしまいます。なぜ、なんだろう。町民の反応がこれほど悪いとは、びっくりしました。マイノートを使うよりは、おしゃべりの方が抵抗が少くないから、出席は良いだろうと思っていましたがね。ただ、前々から気になっていたことがあります。それは、町からの情報不足から来る“言ったって、しょうがねえんだ。新聞見てみる、隣の町はこんなことやっているのに、町はなんにもやっついていね〜べ。言ったって何もやんねえ〜だから、言うだけ損だぞ”と返ってくるんです。情報不足がどんどん進行して行く。この姿を直視しなければなりませんね。情報はまったく出ていないわけではないのですが、住民感覚からすれば「不足」とうつるんです。例えば、今日の会議に配布された「まちづくり委員会委員名簿」を見て、はじめて委員の顔ぶれがわかった。ところが委員任命は7/19あたり、この間3ヶ月の空白があるのです。もしかして、町の広報誌である「広報ふたば」7月号から順次にしらべましたが、委員紹介の頁は見当たりません。いち早く町民に知らせ、まちづくりへの関心を高めていかねばならないのにね。これじゃ「言ったって、しょうがねえべ」との声が出てくるのは当然であります。タイミングのよい情報提供こそ、町づくりの路線なんですけどね〜。だから「町は何やってんだ」と、なってしまうんです。この悪循環をどこかで立ち切らねばなりません。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1411	1年7ヶ月② ■被災者と行政との信頼関係を築くこと。	知人に会うと「町は何をやっているんだ」と、くどきの言葉からあいさつが始まる。災害前にはなかったことです。これほど町民がバラバラになって避難生活をしているんですから、一刻も早い町からの情報が欲しいのです。情報が届いていれば、不安な生活の中でも一種のやすらぎを感じるものです。信頼関係を築くにはいろんな機会をとらえて対応しなければなりません、その中で最も重要なことは「情報提供」です。1枚のハガキでよいのです。分量があればA4 1枚の用紙でもよいのです。（災害時、1枚の提供を実行した市長さんがおりました）残念ながら新聞記事が頼りではネ。それなら逆手を取って、定例記者会見を開いて、情報提供を考えた方が早道じゃないでしょうか。	ノート
1427	新聞「かわら版道しるべ」 ■飯館の推進委避難の全戸に配布（H24・10/20民報）	全村避難している飯館村の活動の一端に学ぶ。いいたて健康リスクコミュニケーション推進委員会は20日、村民に放射線を正しく理解してもらうために、新聞「かわら版道しるべ」を発行すると報じている。注目したいのは、取材と執筆には一般の村民が携わり住民の目線を重視して編集にしていること。そして放射線の専門家が監修に参加しているきめの細い対応がなされている。子供四人を育てながら編集に携わった主婦〇〇さんの弁「何が正しいか分からないことだらけ。一つ一つ疑問に答えたい」と意気込みを語っている。すごいパワーですね。村民も参加しての新聞発行ですよ。どうしてこのような活動ができるのでしょうか。菅野典雄村長「新聞を生かして村民に寄り添い、古里の復興を目指す」と期待を込めている。うむ、やはりリーダーの姿勢も大きな要因になるんですね。もう一つの事例（H23・8/9毎日新聞）	ノート
1454	これからのこと	おおらかな人間関係にしたい。	ノート
1483	娯楽	ふれあいクラブでのイベント、ボーリングやカラオケなどがあればよかった。	ノート
1507	コミュニケーション	同じ地区だった人、知り合いの人と連絡を取ることができなく、孤独感がある。	ノート
1533	コミュニティの維持	<チェルノブイリ法> 制度・生活の保障 → 合意	ノート
1559	復興会議について	7000人の町、コミュニティ、心の拠り所は必要です。 復興会議の皆さま、ありがとうございます。 小春日や時空をこえて双葉町	ノート
1567	情報提供	今後の町の方向性と情報公開を分かりやすくしてほしい。 2011年3月11日の東日本大震災以来、全国に避難しています。双葉町の行政の情報は大切です。情報は希望と勇気と夢を与えてくれます。復興の第一歩は、町民に正確な情報伝達だと思います。情報が今後の判断や行動の基準になります。	ノート
1578	情報提供	双葉町の詳細な放射線量を情報開示してもらいたい。	ノート
1664	地区のつながり	長年かかって築き上げてきた隣組、再生したい。 離れて暮らす子供のところへ避難しても、短期間で顔の見える地域の人達が暮らす仮設住宅へ戻って来る人が多く居るのを見ると、切実に再生隣組を強く思う。	ノート
1667	広報についての希望	広報（ふたばまち）に、南小学校、北小学校の子供達の様子を載せてね！！たくさんだよ！！ 毎回1人ずつしか載せていないね。 もっといっぱい友達のことが知りたいね。 どこにいるんだろうね。 孫と私（おばあちゃん）の会話です。	ノート
1692	文化	避難先自治体の文化になれる機会をつくる。双葉町の文化との比較が可能となる。	ノート
1706	ふたば広報	一番後ろの「おかあさんといっしょ」のページに、知人とその知人のお子さんが出ていて、元気そうな姿を見て良かったです。	ノート
1782	文化・娯楽について	老若男女が自由に利用できる多目的内外の施設（文化、スポーツ等を含めて） 町民1人1人の趣味を生かすことができる施設	ノート
1789	放射線量の詳細地図を要望	参考まで、 浪江町では区長宛に大字または字毎色々にした放射線量の地図を配っていたようですが、双葉町でも欲しいと考えています。	ノート
1796	復興策定の方向性 その1	これまで避難者を快く受け入れてくれている自治体に対し、感謝の気持ちをもって今後とも交流を深めていく。	ノート
1804	放射線量の詳細地図を要望	隣町の浪江町では、国作成の大字・字単位の色別放射線量別地図を区長などに配布し住民との懇談会に利用されているが、自分達の自宅はどのようになっているのかが知りたいため、双葉町の場合も要望したいものである。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1920	社協主催「老人の集い」	今月9月「老人の集い」社協さん主催の会はよい企画でした。1年半ぶりにお会いできた隣組の方々、サークル仲間うれしかったです。来年も何かの形でぜひ企画して下さい。	ノート
1921	日々の活動	民生委員にさせて頂きましたが何の行動もできず申し訳ありません。その代わりこの地でボランティアに頑張っています。	ノート
1922	広報について	町からの広報うれしく読んでいます。町の情報がよくわかりうれしいですが、自分が参加（行事や教室）できないのがくやしくてなりません。まだまだ連絡のとれない方々がいっぱいいます。役場に問合せすると個人情報だからと云われます。	ノート
1934	友人、知人の情報について	町民をつなぐにはまず現在わかっている人たちだけでも良いから電話番号表とか作ってもらいたい。決して悪用しません。	ノート

【インターネット会議からの意見①（各会議意見へのコメント）】

※「コメント」とは、各会議会場の発言として専用ホームページ上に掲載された意見に対して、インターネットを通じて投稿された町民の意見・提案のこと。
 ※「いいね」とは、投稿された意見に対して賛同のボタンを押されたもの。

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議 (対象会場)
1633	集まる場	住民の集会場をつくって、月に一回集まって食事会やお茶会などをしたい。町全体での住民の交流を増やしたい。住民が自由に使えるタブレット端末を町で無料で貸し出し出してくれると、情報が早く伝わるのでよいと思う。		06郡山
1633	コメント1	見るだけならフォトフレームで可。		06郡山
1645	住民の集い	住民の集会所をつくり、月一回集まって食事をつくる。		06郡山
1645	コメント1	何のための食事。お茶菓子程度では？		06郡山
2413	情報提供	役場より最低限の情報を出さないといけないだろう。放射線量分布図を町民へ郵送すべきでないかと思っている。	1	東京G
2413	コメント1	放射性物質汚染対処特措法に基づき国が除染を実施する地域における詳細モニタリングについて(最終報告) http://www.env.go.jp/jishin/rmp/report_120517.html など町にたよらなくとも情報は入手できますが、インターネット閲覧環境が無い方のためにはご意見の通りですね。		東京G
2641	双葉町への要望	福島県外にいと「おくやみ」情報がわからない。		会津若松G
2641	コメント1	インターネットできる方は民報ですが、どうぞ。 http://www.minpo.jp/okuyami/		会津若松G

【インターネット会議からの意見②（HP上の意見及びコメント）】

※「HP上の意見・コメント」とは、専用ホームページに登録し、ホームページ上で投稿された町民の意見・提案のこと。

※「いいね」とは、投稿された意見に対して賛同のボタンを押されたもの。

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議
5	情報発信が少なすぎ！	双葉町からの情報発信があまりに少なすぎ！ もっと分かりやすく早く発信して下さい。 マスコミからの情報の方が早いですよ。	4	HP
13	集える場所	双葉町町民と言っても行政区が違っていると知らない人も結構いる、行政地区の拠点となるような場所があれば、仮設にいる人も借上げにいる人も気軽に顔を出せるのでは？	1	HP
33	学生の参加に期待	震災当時、高校生以上の方達は小中学生と違い双葉の級友達に会う機会を失っているのではないのでしょうか？そこで、双中の同窓会的な催しを開催して頂きたいと思います。その中で、この会議の事もアピールしてはどうでしょうか？	4	HP
165	いわき・まごころ双葉会ってなあに	ニュースで「いわき・まごころ双葉会」というものができたと知りました。 私もいわき市に避難していますが、何もわかりません。 ここか、できれば町のサイトで情報を発信していただけないでしょうか。 また、とあるサイトで「また、圧力団体ができた！」みたいな書き込みがありました。設立主旨や次回開催案内などの情報発信をお願いいたします。		HP
165	コメント1	ネットで検索してみたのですが、ネットでは全く情報の発信が無いのですね。 いわき在住の人に、いわきに作られた双葉自治会の情報が入ってこないというのでは自治会の意味がないような・・・。 http://www.tomioka.jpn.org/comunity.html こちらのアドレスに載っている「ふるさと絆情報ステーション」は主に借り上げ住宅に住む人達向けの施設なので、そこに行けばもしかしたら 「いわき・まごころ双葉会」の情報もあるかも知れませんが、もしなくても意見や要望を出して情報を取り寄せる事も出来るかもしれないので、何かの機会があれば利用してみるのも良いかもしれませんよ。		HP
179	Google ストリートビュー	グーグル日本法人は福島県浪江町内で「Googleストリートビュー」の撮影を開始したと発表しました。 http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20130304/460609/ グーグル広報部は「浪江町の事例を契機に、他の自治体からも許可をいただけるのであれば、撮影範囲を広げていきたい」と説明しているようですが、双葉町も撮影していただきたいと個人的に思います。	1	HP
179	コメント1	みなさんの意見はどうでしょうか？ Google衛星写真の解像度、双葉町周辺は東京都周辺と比較するとおよそ4分の1だと思います。解像度を上げて、震災前、震災後、現在を見れるようなお願いも有りだと思います。		HP
179	コメント2	個人的には一時帰宅の際に町並みを直接見られるのでストリートビューはそれ程必要ではありませんが、立ち入り出来ない子供とか体力に不安のある高齢者や、遠距離に住む一時帰宅が容易ではない人達には手軽に町並みを見る事が出来るストリートビューのような機能は必要かも知れませんがね。 何より町民以外の人にも町の現状を見て貰えるのは良い事だと思います。 作成の際は、出来るだけ町全域をくまなく廻って全域ストリートビュー化して欲しい所です。		HP
179	コメント3	目的は町民のためだけとは思われない。目的理由が明確でない。		HP